

2016年2月吉日

お客様各位

日本カノマックス株式会社  
代表取締役会長 兼 最高経営責任者  
加野 稔

## 第3回カノマックス・インターナショナル・エアロゾルワークショップのご案内

～エアロゾル研究における世界の最新計測技術動向と研究事例の考察～

拝啓 貴兄におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、弊社におきましては、最先端のエアロゾル研究や、微粒子計測に関する課題やトピックス、ならびに大気エアロゾル計測・分析に関する計測技術の動向のご紹介とディスカッションの場として、今回はインターナショナルという言葉に冠して、昨年に続き「第3回カノマックス・インターナショナル・エアロゾルワークショップ」を開催する運びとなりました。

今回も、国内外のエアロゾル研究領域を第一線でリードする気鋭の研究者を多数お迎えし、エアロゾル研究における最新のトピックスについてご講演頂くほか、エアロゾル質量分級装置 (APM) を中心に、超高速粒度分布計測の可能性を秘めた IMS (イオンモビリティースペクトロメータ) や、最新の微粒化技術や CPC 技術を利用した高度の粒子捕集技術、及びアプリケーション事例のご紹介を通じてエアロゾル計測技術についての最新情報をご紹介し共有させて頂きたいと考えております。また、今回は特に北米ならびに東南アジアを中心とした大気エアロゾル粒子の粒度分布計測や元素分析評価における最新の研究事例や計測手法に関するご紹介とパネルディスカッションをメインセッションとして企画し、ご参加の皆様にとり有意義な機会となりますことを祈念しております。

今回はキーノートスピーカーとして、米国のエアロゾル研究並びに世界のエアロゾル研究分野を長らく牽引されてこられた世界的権威である米国ミネソタ大学の **Peter H. McMurry 教授** をお招きし、エアロゾル物理化学に関するご講演をいただく予定をしております。同氏は米国エアロゾル学会における重鎮であり、多くのエアロゾル研究における示唆をいただけるものと期待しております。さらに、台湾国立交通大学の **Chuen-Jinn Tsai 教授** より台湾におけるエアロゾル微粒子組成に関する連続モニタリングの状況の紹介をいただくほか、**金沢大学の 大谷吉生教授** からはフィルター繊維を活用した分級技術ならびに粒子計測技術への展開に関してお話をいただく予定をしております。この他、テクニカルセッションにおいては、米国エアロゾル研究分野におきまして先端的研究を精力的に進めておられますミネソタ大学の **Chris Hogan 准教授**、ならびにイオンモビリティ分析分野において新進気鋭の研究者でありますインディアナ大学の **Carlos Larriba-Andaluz 准教授**、等をお招きしておりますほか、米国イリノイ大学シカゴ校の **Igor Paprotny 准教授** には、画期的なブレイクスルー技術として期待される MEMS 技術をベースとした超小型微粒子センサーについてご紹介頂きます。その他、米国、台湾、日本から世界の研究トレンドをリードする気鋭の研究者に登壇願ひ、最新の研究動向と最先端のエアロゾル計測技術についてご発表頂きます。この機会が活発な意見交換と有益な情報提供の場となり、必ずや皆さまの研究活動に資することを確信しております。

ご多用中、誠に恐縮ではございますが、是非ともご来臨賜りますようお願い申し上げます。

敬具

<お問合せ先>  
日本カノマックス株式会社 先端計測事業部  
粒子研究計測ソリューションズディビジョン  
東山 泰造  
TEL 06-6877-0177  
FAX 06-6877-6849  
taizo.higashiyama@kanomax.co.jp

## 第3回カノマックス・インターナショナル・エアロゾルワークショップ° 開催概要

テ - マ : エアロゾル研究における世界の最新計測技術動向と研究事例の考察

開催日時 : 2016年3月25日 10時00分~17時00分 (受付開始 9時30分)

会 場 : AP品川アネックス 地下1F 会議室I、会議室P

内 容 :

### <キーノートセッション>

- Peter H. McMurry 氏 【米国 ミネソタ大学 機械工学科 粒子研究室 教授】  
Chuen-Jinn Tsai 氏 【台湾 国立交通大学 環境技術研究所 教授】  
大谷吉生 氏 【金沢大学 理工研究域自然システム学系化学工学コース学長補佐 教授】

### <テクニカルセッション>

#### 1. 動力学現象を利用した粒子質量・粒度分布測定法の最新動向と将来展望 :

APM(エアロゾル質量分級装置)に関する新たな評価結果や気づきを含め、今後の課題について協議を行うと共に、迅速粒子移動度測定法として可能性が期待される IMS (イオンモビリティ分析法) について、現状と可能性について議論をしたいと考えております。

##### <主な講演予定者>

- 榎原研正 氏 【産業技術総合研究所 計量標準総合センター 招聘研究員】  
Chris Hogan 氏 【米国 ミネソタ大学 機械工学科 准教授】  
Ta-Chih Hsiao 氏 【台湾 国立中央大学、環境工学 助教】  
Carlos Larriba-Andaluz 氏 【米国 インディアナ大学-パデュー大学インディアナポリス校 機械工学科 助教】

#### 2. 最先端技術を活用したエアロゾル計測と研究応用事例 :

液中粒子のエアロゾル化や、微小粒子の粗大化を通じたサンプリング方法の開発等、今後のエアロゾル粒子の同定に期待がもたれる新技术を中心に紹介を行うと共に、高度な半導体微細加工技術を用いた粒子質量濃度測定の新しいアプローチに関する最新動向もご紹介する予定です。

##### <主な講演予定者>

- Patricia Keady 氏 【米国 Aerosol Devices Inc. 社長】  
Igor Paprotny 氏 【米国 イリノイ大学シカゴ校 コンピューターサイエンス/機械工学科 准教授】  
Derek Oberreit 氏 【米国 Kanomax FMT Inc. 研究開発担当副社長】

### <実機デモンストレーションセッション>

弊社製品を含め、プレゼンテーションの関連する機器のデモンストレーションを準備しております。

\*\*\* プレゼンテーションと配布資料は英語となります。(資料は和訳挿入予定)

## <レセプション>

場所：別途ご案内予定です。参加費は無料です。

時間：18時00分～20時00分

参加費：無料

定員：60名 \*定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、ご了承ください。

申込期限：3月6日（金）

主催：日本カノマックス株式会社 粒子研究計測ソリューションズディビジョン

<http://www.kanomax.co.jp/agroup.html>

ご注意事項：上記プログラムは、予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。

## 【アクセス】

- AP 品川アネックス 〒108-0074 東京都港区高輪 3丁目 23-17 品川センタービルディング  
TEL：03-5475-6109

東海道新幹線・JR線・京急線、品川駅より徒歩約3分



### 第3回 カノマックス・インターナショナル・エアロゾルワークショップ参加申込用紙

ご返信先 FAX : 06-6877-6849 Email : aerosol@kanomax.co.jp

日本カノマックス株式会社 粒子研究計測ソリューションズディヴィジョン宛

お申込日 月 日

---

お名前 :

---

ご所属 :

---

TEL :

---

Email :

---

ご興味のある技術 : エアロゾル粒径・形状分析 エアロゾル質量分析 成分分析

---

現在お困りのこと  
及びご要望等 :

---

その他 :

---

レセプション : 参加します 参加しません

---